

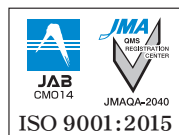


地域連携室ニュース

“美心” (ちむぐる)



独立行政法人国立病院機構
沖縄病院



〒901-2214
沖縄県宜野湾市我如古3丁目20番14号
TEL : 098(898)2121
FAX : 098(898)6433 (地域連携室直通)

2020年8月 No.102 発行/地域医療連携室



『地域包括ケア病棟医長としての役割』

沖縄病院では、地域包括ケア病棟を2019年7月からスタートしましたが、2020年4～5月は地域包括ケア病棟を一旦は閉鎖し、新型コロナ患者対応に備えておりましたが、7月から包括ケア病棟を再開いたしました。

当病棟に入院される患者様は、総合病院などで各疾患の専門的な治療がなされたあと、ある程度安定した状態で当院に転院し、リハビリテーション療法を中心とした医療を提供する事になります。理学療法士は縦横無尽に院内を駆け回って働いてくれています。当院の地域包括ケア病棟看護の一つの特色として、患者様のご自宅への退院が決まった際は、患者様の承諾を得たうえで看護師が退院前にご自宅を訪問して、お部屋の状態(段差や動線など)を実際に拝見し理学療法士と相談しながら、具体的に入院中どのようなリハビリが必要になるか決定していることがあげられます。また、退院後、施設への入所が決まっていない場合は、地域医療連携室の退院調整看護師が日々頭を悩ませながら頑張ってくれています。

総合内科、消化器内科担当の私が、院外から地域包括ケア病棟に紹介頂いた患者様を担当致しております。当院は、他の総合病院とは異なり全診療科が揃っておりませんが、当院の主な診療科として「呼吸器外科」「呼吸器内科」「脳神経内科」「緩和医療科」「消化器内科」「総合内科」があり、それ以外の診療科として琉球大学病院から「皮膚科」「整形外科」「内分泌内科」、牧港中央病院から「循環器内科」の専門医の先生方に週1回の診療援助に来て頂いており、非常に助かっております。患者様には、成人病などの基礎疾患、癌や難病が基礎疾患にある患者様や、栄養状態が悪く自由に動くことのできない患者様も少なくなく、当院のNSTや褥瘡チームが患者全体の栄養状態に最新の注意を払っています。また、入院時に採血、検尿、心電図、胸部レントゲン検査をルーチンで実施し、入院中に新たに発症しうる感染症(誤嚥性肺炎・尿路感染症など)、褥瘡、虚血性心疾患などにも注意深く備えたいと考えております。当院にない診療科に受診が必要な場合は、早急に対応できるよう調整を心がけております。患者様一人一人に対し、できるだけ快適に過ごしていただけるよう心から願っており、退院時に患者様にそう思っていただけるよう、スタッフ一同努力しております。沖縄病院地域包括ケア病棟を今後とも宜しくお願い致します。

令和2年8月吉日
国立病院機構沖縄病院
地域包括ケア病棟 医長 樋口 大介

基本理念

患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します

運営方針

1. 政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
2. 患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
3. 健全な経営基盤の確立
4. 安心して療養に専念できる快適な環境
5. 臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実

 GINOWAN CITY FM 81.8MHz
ぎのわんシティFM

毎週月曜日9時30分から当院職員による病気に関する様々な情報をラジオ放送しております。当院HPにも放送内容を掲載しておりますのでご覧ください。

各科診療科紹介

呼吸器外科

メンバー紹介：川畑勉院長・河崎英範・饒平名知史・平良尚広・久志一朗・高原明子
外科紹介～次世代の外科チーム医療をめざして～

8月に入り沖縄県のコロナ警戒レベルが第4段階に引き上げられ、県内各施設とも大変ご苦労されていることと思います。当院診療科外科を紹介いたします。ご存じのように呼吸器外科にほぼ特化した外科チームです。肺がんの早期症例では肺機能温存を心掛けた縮小手術を、進行症例では集学的治療を組み合わせた気道・肺血管切除再建を伴う手術も積極的に取り組んでおります。

当科の特筆すべき治療として気道インターベンション治療があります。気道狭窄クリティカルな状態ですが、内視鏡的あるいは外科的治療で劇的に症状が改善します。非常にストレスフルな治療ですが、麻酔医をはじめ全スタッフの迅速な連携のなせる技と自負しております。現在当科スタッフは4名(1名は緩和併任)で、私が赴任した当時(11名)の半分以下の体制で診療にあたっております。



昨年診療看護師(NP)が赴任し、本年度から外科配属となりました。病棟業務をはじめ手術助手、麻酔管理にも参加し、またNP参加を機に多職種を交えた病棟ミーティングを開始し、病棟スタッフの意識向上に大きく影響している印象です。外科医減少の現状では従来の各職種の業務の制限、固定化では対応できないのは目に見えています。より良い診療の継続のためにも新たな時代のチーム作りを始めたところです。今後とも宜しくお願い申し上げます。
(文責 河崎 英範)

呼吸器内科

メンバー紹介：大湾勤子・比嘉太・仲本敦・藤田香織・知花賢治・名嘉山裕子
【当科の特徴・取り扱い疾患】

肺がんセンターがあり、当科では抗がん剤、放射線治療を担当しています。他に県内で数少ない入院での肺結核治療を行っています。外来では、間質性肺疾患・気管支喘息・COPDなどの軽症から重症まで診療しています。また、検診異常での再精査や肺ドック、禁煙外来も行っています。



【地域の先生方へ】

肺がんは、手術の場合は呼吸器外科、放射線治療の場合は放射線科に紹介し、病期に応じて連携をとりながら治療を行っています。肺がんを疑う場合にご紹介頂ければ適切に対応させていただきます。皆様方と病診連携を図り、スタッフ一同患者様へ最善の医療を提供できるよう努力していきたくと思います。
(文責 知花 賢治)

脳神経内科

メンバー紹介：渡嘉敷崇・諏訪園秀吾・中地亮・藤原善寿・藤崎なつみ・妹尾洋
城戸美和子・谷川健祐・宮城朋

脳神経内科では筋ジストロフィーをはじめ、運動ニューロン病などの神経変性疾患や多発性硬化症や視神経脊髄炎などの免疫性神経疾患、またHTLV-1関連脊髄症(HAM)、沖縄型遺伝性運動感覚ニューロパチー等の地域性がある疾患についても高い専門性を持って診療を行っています。高齢化に伴い増加しているパーキンソン病や認知症など社会的な課題とされる疾患にも対応を強化しています。



MRI、RI検査(脳血流シンチグラム、MIBG心筋シンチグラム、ダクトスキャン)などの画像検査、神経心理検査や脳波・電気生理検査などを実施し、精度の高い診断を行い、お薬の治療と合わせてリハビリテーションにも重点をおき質の高い診療を行っています。

当院は県内唯一の難病医療拠点病院に指定されており、沖縄県内の脳・神経・筋疾患診療の中心として皆様のお役に立てるよう各神経関連学会認定の専門医資格を持つ経験豊富なスタッフ全員で頑張っています。
(文責 渡嘉敷 崇)

緩和医療科

メンバー紹介 医師：久志一朗、大湾勤子 病棟師長：内山瑞乃

当科の特徴・取り扱い疾患：悪性腫瘍、AIDSが入院対象疾患となっています。在宅療養希望でも当院通院希望の方は、緩和ケア外来で対応しています。

入院診療実績(2019年)

紹介患者数343件、緩和ケア外来実施件数230件、入院患者数235件、死亡退院患者数206件、生存退院患者数20件、平均在院日数24日

地域の先生方へ

当院緩和ケア病棟は、2006年4月から15床で始まり、現在は25床に増え延べ入院患者数は2000件を超えました。患者本人、または御家族との緩和ケア外来での面談後、入院調整を行っています。また、御家族の介護疲れによるレスパイト目的の入院も受け入れています。 (文責 久志 一朗)



麻酔科

高原明子(たかはらさやこ) 麻酔科標榜医、専門医

【当科の紹介】

主に手術室での全身麻酔を担当します。また、内視鏡検査でも全身麻酔を行うことができます。患者様の病態にあった麻酔方法を提供し、周術期の不安や疼痛を和らげることができます。手術室や検査室という特殊な環境で、患者様が安心して身を任せて下さることができる環境作りにも、スタッフとともに日々取り組んでおります。

※診療実績：年間約200例の胸部外科、整形外科手術の麻酔を行っています。



医局秘書課

メンバー紹介：藤田香織・渡真利早苗・国仲梨奈・安井美和・長山あゆみ・上原真奈美

秘書室では主に医師事務作業補助者が担当する範囲の業務を担当しています。

医師事務作業補助者には病院によって様々な呼び名がありますが、沖縄病院では通称は「秘書」となっています。施設基準は適正に守りつつ、診療点数に載っていない業務もするのが沖縄病院秘書室の特徴です。また医師事務作業補助者は「診療報酬の請求業務」は不可ではありますが、それは「医科点数や請求内容に無知であっても良い」ということではなく、「保険診療は契約である」という事実により、必要な記載が抜け落ちたりしないように医師へリマインドもしながら仕事をしています。まさに医療チームの一員です。やるべきことを指示されるまで何もできないというタイプの方は医師事務補助には向いていないと思います。医師の多忙さ故に抜ける業務を、指示される前に「やりますか？」と時には自分から提案できる、しかもリマインドするタイミングも心得ている、個性豊かな医師達にケースバイケースに個別に対応できる・・・沖縄病院ではそんな人材に恵まれました。書類を書くだけでなく、患者さんへの配慮、仕事へのプロ意識、向上心・・・その全てが備わっています。沖縄病院では、患者ファーストで働く医療職のみならず、現場をよく知ってる彼女ら事務職にも支えられ今後も質の高いサービスを提供していきます。 (文責 藤田 香織)



リニアック紹介

放射線治療は手術、化学療法と並ぶがん治療の三本柱の一つです。

放射線治療の特徴はがん細胞の増殖能力を抑えることで臓器を切らずに治療が可能な事と、完全に治す事を目的とする治療から症状を和らげるだけを目的とする治療まで幅広い役割を担うことができる事です。放射線は痛みや熱さなど何も感じずに多くの場合、体への負担が少ないため外来通院治療が可能です。治療の回数(日数)は疾患や状態に合わせて1回から数十回(1日から数週間)です。当院では主に肺がん、乳がんの術後照射、緩和照射を行っていて、一番のセールスポイントとして、患者ファーストの観点から希望する来院時間に柔軟に対応できることです。さらに待ち時間も殆どありません。

地域の先生方へ、適応のある患者様がいらしたら、ご紹介お願い致します。



西田 浩如
放射線科副技師長



緩和ケア病棟紹介



緩和ケア病棟
内山 瑞乃 看護師長

緩和ケア病棟は平成30年3月に南6病棟へ移転し、2年半が経過しました。病棟は今もピカピカで、患者様・ご家族から「過ごしやすい」とのお言葉をいただきます。私たちスタッフが、最も大切にしていることは患者様の意思を尊重する事です。患者様やご家族にとって、「よりよい療養生活となるよう」スタッフがONEチームで緩和ケアを提供しています。

がんに対する積極的な治療は行いませんが、患者様・ご家族様と相談し、がんに伴う苦痛症状を取るための放射線治療(緩和照射)、輸血、腹水穿刺などの治療を行います。また、患者様やご家族様が不安なく、自宅で過ごせるよう、在宅医療や福祉サービスの調整など地域の医療機関と連携しています。これからも患者様、ご家族に選んで頂ける病棟を目指して行きたいと思っております。現在、コロナ禍で、以前のように自由に面会はできませんが可能な限り、患者様・ご家族が心穏やかに過ごせるよう病棟の環境を整えています。



連携病院紹介
沖縄病院と連携していただいている医療機関をご紹介します



医療法人清成会

- ◆ 診療科目 / 内科・小児科・外科・人間ドック・往診・訪問診療
- ◆ 所在地 / 〒904-2104 沖縄県浦添市当山2-9-3
- ◆ 電話番号 / 098-878-7070
- ◆ 休診日 / 木曜日、日曜・祝日

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前9:00～11:00 | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | △ |
| 午後2:00～5:30 | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | △ |

浦西医院は平成5年11月浦添市当山に開業いたしました。振り返ってみると、もう27年たちますか？当時は近辺にはクリニックは少なく、特に小児科はなく開業当初は小児の患者が多かった。いくら以前勤務していた病院の夜間救急で小児科を診ていたといっても1～2か月の赤ちゃんを診るのは大変でした。専門は内科循環器ですが、開業前提に心臓エコー・腹部エコー・胃カメラも研修してきた関係で、地域では総合医として力を発揮してきたと自負しております。診療報酬の改定のたびに医業収入は減ってきているように感じますし、そしてこれだけ開業医も増えてくると、一般診療だけでは経営的に難しくなっていると思います。10年以上前から訪問診療と薬の治験を始め、その収入を合わせて何とかクリニックを運営してきました。これからも、3本柱(一般診療+訪問診療+薬の治験)を維持し地域に貢献していく所存でございます。皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



▲▼病院外観

